

6年 わたしの地図活用

日本と世界の結びつき  
～絵記号や写真から広がる世界への興味・関心～

宮城県 石巻市立向陽小学校 中澤 健一

1 はじめに

6年生では「我が国と経済や文化などの面でつながりが深い国の人々の生活の様子」を学習します。この学習において、地図帳をどのように活用できるのか、実践を行いました。

2 つながりが深い国はどこ？

我が国とつながりが深い国を取り上げる際、児童の興味・関心にもとづいたり、地域とのつながりや教科書の例を参考にしたりと、多様な方法があります。ここでは、地図帳を活用し、「世界の国別統計」を参照する方法を取りあげてみました。

最初に『楽しく学ぶ小学生の地図帳 最新版』（以下、地図帳）p.75（新p.75）の「世界の国別統計」のページを開いて、「日本からの輸入」「日本への輸出」の項目から、それぞれ金額の多い国を順に三つずつ、探すようにうながします。

結果は次のようになります。

日本からの輸入	日本への輸出
1 中華人民共和国	1 中華人民共和国
2 アメリカ合衆国	2 アメリカ合衆国
3 大韓民国	3 オーストラリア

(注) 2013年の統計では、日本からの輸入の1位はアメリカ合衆国、2位が中華人民共和国となっています。

このことから、輸入も輸出も、中華人民共和国（以下、中国）の貿易額がいちばん多いことがわかりました。児童は「日本に近いから」「中国産の商品が多いから」といった中国に対する印象だけでなく、統計からも日本

\*地図帳の参照ページの「新」は、4年生が使用している地図帳『楽しく学ぶ小学生の地図帳』を表しています。

とのつながりが深いことを理解することができました。

3 中国の面積や人口、位置は？

中国の基本的な情報を整理するために、同じくp.75から、各自中国の「国名」「首都」「面積」「人口」を調べ、ワークシートに記入するようにしました。

「面積」「人口」に関しては、「日本の何倍か」を求めさせました。中国の面積は日本の約25倍、人口は約11倍であることがわかると、児童からは驚きの声が上がりました。その後は地図帳p.53～54（新p.53～54）や白地図を使用して、中国は日本の西に位置し、ユーラシア大陸の東側の国である、といった中国の位置や大まかな範囲を示しました。

4 中国の文化から気づいたことは？

本時では「料理」に焦点を当てて、中国の文化について考えていくようにしました。



『楽しく学ぶ小学生の地図帳 最新版』 p.53（新p.53）

まずは地図帳p.53～54から、料理に関する絵記号を探し、白地図に記入させました。日本に身近な食べ物が多いこと、地域（気候や地形など）によって料理の特徴が異なることを押さえました。

続いて地図帳p.54の「はしで食べる家族」を取り上げ、「写真を見て、日本と同じとこ

**6年社会科「日本とつながりの深い国々」**  
6年 組 番 名前 ( )

1 「日本とつながりの深い国々」について、貿易面から見てみよう。→地図帳75ページ

「日本からの輸入」が多い国…

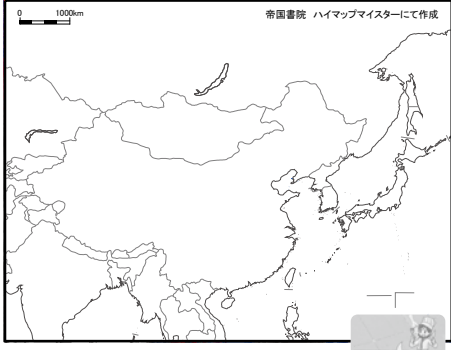
「日本への輸出」が多い国…

2 中国について、基本的なことを押さえておこう。

正式国名:	
首都:	
面積:	人口:
→日本の 倍	→日本の 倍


国旗をかこう。

3 中国の範囲を確認しよう。



3 地図帳を見て、料理に関係することを上の地図に記入しよう。

4 「はしで食べる家族」の写真を見て、気付いた（日本と同じ/違う）ことを書こう。



5 地図帳から分かる、中国から伝わったもの、中国の文化、中国と言え…を書こう。

6 今日の学習についての感想を書こう。

ワークシート

ろや違うところなど、気づいたことをあげましょう」と投げかけました。

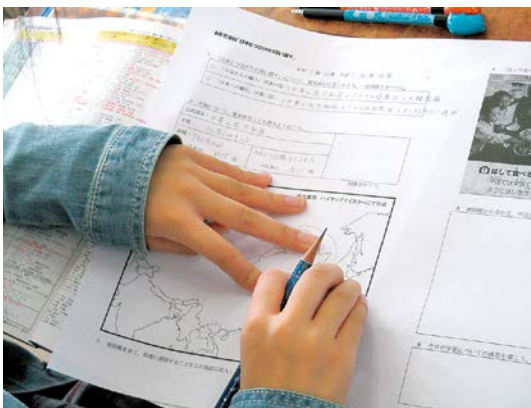
児童からは、「中国でもはしを使って食事をしている」「日本のはしよりも長い」「菜ばしのようだ」「家族みんなで食べている」「大皿から自分の皿に取り分けている」「食事がひとりひとりに用意されていない」などの意見が出されました。これらの意見から、日本と中国のはしの違いや食事の文化などを整理し、学習をまとめていきました。

児童の学習後の感想には「中国が日本にとって身近な国であることがわかりました」「気候によって料理に違いがあることがわかりました」「もっと中国について調べてみたいと思いました」「地図帳の使い方がさらにわかりました」といった内容があげられました。日本とつながりが深い国の内容とともに、地図帳の使用についても学ぶことができたのではないかと感じています。

**5 おわりに**

このような単元での調べ学習では、インターネットや書籍などにたよりがちになってしまいがちですが、地図帳も有効な資料の一つとして活用の一例を紹介できたのではないかと、思います。

6年生の学習では、地図帳を使う頻度は減少していますが、調べる国の基本的な情報を押さえたり、一つの資料からじっくりと読み取ったりするなど、地図帳を活用できる幅は広がっていくのではないかと、考えます。



ワークシートに記入しているようす